

令和6年1月25日(木)

根拠のない自信を持って。それを裏付ける努力をせよ。

脳科学者であり、作家でもある茂木健一郎（もぎけんいちろう）さんは講演会などで、何度も「根拠のない自信を持って。それを裏付ける努力をせよ。」とおっしゃっています。

この言葉は、「自信をもつのに根拠は必要ありません。できるかどうかはわかりません。しかし、それでもやるしかないのです。つまり、「根拠のない自信」とは、とにかく行動するという決意表明なのです。」という意味です。

しかし、「根拠のない自信」があっても、それを裏付ける努力がないと意味がありません。たとえば「私は学級で一番になります」と言っても、それだけで満足し、実際には勉強などの努力をしなかったら、意味がありません。

「根拠のない自信」とは、言うなれば自分に対する「無茶振り」です。本当にそれができるかは分かりません。もし、できるとしたら、どれだけの努力が必要なのか。「根拠のない自信」によって始めたのであれば、その後は、実は慎重さが求められるのです。コツコツと地道にやるしかありません。

「根拠のない自信」をもち、ある目標を目指して努力し始めたならば、減らず口はたたけません。慎重にならざるを得ません。絶対にその目標を達成しようとして、実際に自ら動かなくてはならないのです。しかも、慎重かつ大胆にです。

「根拠のない自信」を持つことは、即ち、ゴールではありません。スタートラインに立つことなのです。スタートラインに立ったならば、誇りを持って取り組み、これからの苦難をはねのけ、達成するしかありません。「根拠のない自信を持って。それを裏付ける努力をせよ。」とは、それぞれ人生への参加宣言だともいえると思います。